

長岡市自転車ワークショップの開催結果について

【開催概要】

(1)目的

現在、検討を進めている『自転車ネットワーク計画（素案）』について、日ごろ自転車を利用している市民と計画（素案）の考え方を共有するとともに、市民目線の意見を聴取するため、自転車利用に関するワークショップを開催した。

(2)参加者

学校関係者（中学生、高校生、教員）、大学生、交通事業者、商店街、サイクリング協会、地域住民、行政関係の39名

(3)日時

平成26年11月1日（土）13：30～16：30
アオーレ長岡

(4)グループワークの内容

グループワーク①：自転車ネットワーク候補路線について

- ・自転車利用の危険箇所
- ・自転車が多く利用している道路

グループワーク②：歩行者および自転車利用者の安全な通行のための課題について

- ・車道での自転車利用の課題
- ・歩道での安全な通行の課題
- ・安全を確保するために自らできること

グループワーク③：路上駐輪への対策および既設駐輪場の活用について

- ・路上駐輪する理由
- ・歩道上の放置自転車対策
- ・駐輪場の利用を促すアイデア

【ワークショップ意見の計画への反映】

- ・通学路における優先的な整備・・・第5章 第3節 整備の進め方
- ・橋梁部等の急勾配箇所への対応・・・第6章 (7)橋梁部等の勾配

※そのほかの意見については、今後詳細な検討を進める際の参考にさせていただきます。

【グループワークでの意見】

＜グループワーク①＞

自転車ネットワーク候補路線について
<p>1) 自転車利用の危険箇所</p> <ul style="list-style-type: none">・ 橋梁の取付部など、急勾配（下り）箇所では、自転車のスピードが出るため危険。・ 長生橋や大手大橋は歩道が狭いため、歩行者と自転車が行き来すると危険。・ 大手通りなどは、通学時間帯が混雑し、スピードを出して学生が走るため危険。・ 学生は広がって走るため、歩行者が危険。・ 大手通りは、歩行者・自転車ともに通行区分を守っていない。・ 集団で走る自転車よりも、1人で歩道上をスピードを出して歩道を走る自転車が危険。・ 左岸バイパスには、信号が少なく、旧道が交差している箇所があり危険。・ 駅東口から長岡大手高校の校門前まで、歩道に信号等が無い場合、判断が曖昧になる。
<p>2) 自転車が多く利用している道路</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大手通りは通勤、通学の自転車が非常に多い。・ 学生の利用が多いため、高校の自転車通学路を定める等、優先的に整備をすべき。・ ネットワークは大きな通りを選んでいるが、裏道を抜ける自転車も多い。

<グループワーク②>

歩行者及び自転車利用者の安全な通行のための課題について

1) 車道での自転車利用の課題

- ・路面を着色することで、交差点を直進するように促せる。
- ・路肩に自動車が増えている場合、危険を感じる。
- ・イヤホンや並走、突然曲がる高齢者、一時不停止等、自動車からも自転車が怖い。
- ・段差解消やスリップ対策（水溜り・春先の砂利等）を実施すると、快適な空間となる。
- ・歩道と車道を完全に平らにするのは危険（視覚障がい者等の対応）
- ・ダンプトラックのような運転席の高い車両からは路肩の自転車を認知しにくい。
- ・橋梁は路側帯が狭いため、歩道を通行するようにしてほしい。
- ・自動車の交通量が多く、歩道が広い路線は、歩道通行としてほしい。
- ・左側通行を守るため、路面表示と、わかりやすい標識の設置が非常に重要となる。
- ・路面表示などは、コストも考え、有効なものを考える必要がある。
- ・カラー化は自動車へのアピールにもなるため、非常に良い。
- ・自転車用の信号機の設置も考える必要がある。

2) 歩道での安全な通行の課題

- ・長岡駅前の路上駐輪が無くなると、すごく良くなるのではないかと。
- ・歩行者、自転車両者のためにカラー化は必要。
- ・高齢者は間違えたルールで覚えている方もいるため、教育が必要ではないかと。
- ・歩行者も広がって歩いているため、自転車はそれを避けて走らなければならない。
- ・子供や高齢者を守るため、地域全体で意識啓発をしていく必要がある。

3) 安全を確保するために自らできること・して欲しいこと

- ・通行位置を分かりやすくし、歩道上は歩行者が最優先であることを自覚してもらう。
- ・ルールやマナーを学習してもらう機会を設ける。
- ・自宅で子供に親が乗り方を指導すべき。（正しく出来るかが問題）
- ・部活動の顧問からの乗り方指導が効果的と思う。
- ・環境を整備するだけでなく、個々の意識を変える必要がある。
- ・環境が整備され、快適になることで、スピードの出し過ぎに注意が必要。
- ・道路交通法改定や、計画策定の趣旨を説明し、車道走行の利点をPRすることが大事。
- ・保険の加入を促進する必要がある。

<グループワーク③>

路上駐輪への対策および既設駐輪場の活用について
1) 路上駐輪をする理由
<ul style="list-style-type: none">・公共交通の時間に間に合わせるため。・規制もなく、周りも路上駐輪しているため、悪いこととは思っていない。・駐輪場は時間制限があるので、利用しづらく感じる。・長岡駅周辺の駐輪場の存在を良く知らない。・地下駐輪場は利用しづらく、手間がかかる。・そもそも駅周辺の施設に駐輪場が無い。
2) 歩道上の放置自転車対策
<ul style="list-style-type: none">・駐輪対策の方向性を明確にする必要がある。・東口と同様に規制をかけ、プランターなどを設置し、景観を良くする。・規制が不可能であれば、きれいに駐輪出来るようなラインや施設を設置する。・既存駐車場の周知を図ることが重要。・止め方のルールを決め、部分的に許容してはどうか。(罰則規定も検討)・空き店舗等を活用するなど、高齢者用のスペース等の配慮が必要ではないか。・4時間以上の駐輪は回収する。・自転車通行位置をしっかりと明示する必要がある。・駐輪場が地上にあれば、確実に利用は増えたはず。
3) 駐輪場の利用を促すアイデア
<ul style="list-style-type: none">・駐輪場の空き状況を確認できると良い。・多少の費用がかかっても、自分専用の駐輪場があると良い。・利用者のインセンティブ(商店割引券や記念品)を付与する。・やはり周知不足が原因の一つなので、特に駐輪の多い箇所に案内看板を設置する。・全て駐輪場に誘導するのではなく、地上の小さなスペースを活用するなど検討を。